

2015年度 事業報告書

事業年度 2015年4月1日～2016年3月31日



学校法人 聖マリア学院

St. Mary's Educational Foundation

Fides 【 信仰 】

Spes 【 希望 】

Caritas 【 愛 】

～ 連綿と受け継がれる「カトリックの愛の精神」 ～

聖マリア学院の歴史の源泉は、大正4年、井手内科医院の開設にはじまります。その院長、井手用蔵は熱心なカトリック信者で、貧しく医療に恵まれない人々を長年に亘り支援してきました。

学校法人聖マリア学院の創設者である、初代理事長の井手一郎は、父・用蔵の志を継ぎ、後の本法人設立母体となる、医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院（現・社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院）を開設し、その基本方針を、カトリックの愛の精神に基づく医療と教育の普及としました。

本学院の教育理念が、カトリックの愛の精神に基づく教育研究の実践である所以であり、その精神は、現在に至るまで連綿として受け継がれています。

信 望 愛



目次 ~Contents~

I. 法人の概要

1. 法人の概要
2. 建学の精神
3. 教育理念
4. 沿革
5. 役員・評議員
6. 設置する学校・学部等
7. 入学定員及び学生数
8. 教職員
9. 聖マリアグループ

II. 事業の概要

1. 基本方針
2. 2015年度に実施した主な事業内容
3. 2015年度入試結果
4. 卒業生の主な進路状況
5. 国家試験の合格状況
6. 学年暦

III. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い
2. 「資金収支計算書」の概要
3. 「消費収支計算書」の概要
4. 「貸借対照表」の概要
5. 有価証券・特定金銭信託の時価情報
6. 主な施設設備の整備状況
7. 主な事業計画履行状況
8. 大科目の経過年度比較表
9. 主な財務比率の経年度比較表
10. 平成27年度決算総評

I. 法人の概要

1. 法人の概要

法人名	学校法人聖マリア学院 (St. Mary's Educational Foundation)
代表者	理事長 井手 三郎
所在地	〒830-8558 福岡県久留米市津福本町4-2-2番地
電話番号	0942(35)7271
設立年月日	1982(昭和57)年11月5日

2. 建学の精神

カトリックの愛の精神

主イエス キリストの限りなき愛のもとに、常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々と共に歩むことです

3. 教育理念

聖マリア学院大学は「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

4. 沿革

- 1952（昭和27）年 医療法人雪ノ聖母会 設立
（後の学校法人聖マリア学院設立における母体となる法人）
（平成21年より「社会医療法人雪の聖母会」に法人格変更）
- 1953（昭和28）年 医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院 開設
- 1973（昭和48）年 医療法人雪ノ聖母会
聖マリア高等看護学院第2科看護専門課程 設置
（後に聖マリア看護専門学校へと改組）
- 1976（昭和51）年 医療法人雪ノ聖母会
聖マリア高等看護学院第1科看護専門課程 設置
（後に聖マリア看護専門学校へと改組）
- 1976（昭和51）年 聖マリア高等看護学院を聖マリア看護専門学校と改称
- 1982（昭和57）年 学校法人聖マリア学院 設立
（聖マリア看護専門学校の設置者を医療法人雪ノ聖母会から移譲）
- 1984（昭和59）年 聖マリア看護専門学校に保健学科、助産学科 設置
（後に聖マリア学院短期大学へと改組）
- 1986（昭和61）年 聖マリア学院短期大学 看護学科 開学
（後に聖マリア学院大学へと改組）
- 1989（平成元）年 聖マリア学院短期大学に専攻科（地域看護学専攻・
助産学専攻） 設置
- 1990（平成2）年 同上地域看護学専攻に国際看護コース 開設
- 1995（平成7）年 聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 開校
- 2006（平成18）年 聖マリア学院大学 看護学部 開学
- 2009（平成21）年 聖マリア学院短期大学（看護学科・専攻科） 閉学
聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 閉校
- 2010（平成22）年 聖マリア学院大学大学院看護学研究科 開設
- 2013（平成25）年 聖マリア学院大学に専攻科（助産学専攻） 設置

5. 役員・評議員

2016年3月31日現在

○理事／定員：6～8名 現員：7名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
理事長	井手 三郎 (イデ サブロウ)	理事の互選
理事 (常勤)	井手 三郎 (イデ サブロウ)	学長
理事 (常勤)	井手 信 (イデ ノブ)	評議員
理事 (非常勤)	黒岩 中 (クロイワ アタル)	評議員
理事 (非常勤)	ドーボン・マーグリーテ	評議員
理事 (非常勤)	榎原 利則 (ナラハラ トシノリ)	学識経験者
理事 (非常勤)	牧山 強美 (マキヤマ ツヨミ)	学識経験者
理事 (非常勤)	青木 清 (アオキ キヨシ)	学識経験者

○監事／定員：2名又は3名 現員：2名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
監事 (非常勤)	山田 隆 (ヤマダ タカシ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任
監事 (非常勤)	永松 雄一郎 (ナガマツ ユウイチロウ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任

○評議員／定員13～17名 現員：15名 任期：3年

氏名	選任条項
井手 三郎 (イデ サブロウ)	法人職員
松尾 ミヨ子 (マツオ ミヨコ)	法人職員
安藤 満代 (アンドウ ミチヨ)	法人職員
濱野 香苗 (ハマノ カナエ)	法人職員
中ノ森 美知子 (ナカノモリ ミチコ)	卒業生
日高 艶子 (ヒダカ ツヤコ)	卒業生
井手 健一郎 (イデ ケンイチロウ)	実習施設職員
橋口 ちどり (ハシグチ チドリ)	実習施設職員
中島 成子 (ナカシマ シゲコ)	実習施設職員
島 弘志 (シマ ヒロジ)	実習施設職員
井手 信 (イデ ノブ)	学識経験者
上野 正二 (ウエノ ショウジ)	学識経験者
黒岩 中 (クロイワ アタル)	学識経験者
廣田 良夫 (ヒロタ ヨシオ)	学識経験者
ドーボン・マーグリーテ	学識経験者

6. 設置する学校・学部等

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科 助産学専攻
(St. Mary's College)

所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
(The Graduate School of St. Mary's College)

所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

7. 入学定員及び学生数

2015年5月1日現在

○聖マリア学院大学

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学部 (4年課程)	1	100	***	115	119
	2	(100)	***	***	120
	3	(100)	***	***	112
	4	(100)	***	***	121

合計	収容定員	400	在籍者数	472
----	------	-----	------	-----

○聖マリア学院大学専攻科

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
助産学専攻 (1年課程)	1	15	***	7	7

合計	収容定員	15	在籍者数	7
----	------	----	------	---

○聖マリア学院大学大学院

研究科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学研究科 (2年課程)	1	12	***	10	10
	2	(12)	***	***	16

合計	収容定員	24	在籍者数	26
----	------	----	------	----

在籍者数合計	-----	505
--------	-------	-----

8. 教職員

○教員

	聖マリア学院大学 看護学部	聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
教授	15	15 (併任)
准教授	6	6 (併任)
講師	7	1 (併任)
助教	5	0
助手	13	0
合計	46	22 (併任)

○職員

	法人本部 事務局	聖マリア学院大学 看護学部
職員	2	15
臨時職員	0	2
合計	2	17

※上記の他、法人本部事務局長が聖マリア学院大学より兼務

9. 聖マリアグループ

○社会医療法人雪の聖母会

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター

救命救急センターを中心として、地域に根ざした医療を目指す、診療科目41科、総病床数1,097床の総合病院です。

1953年の開設以来、「カトリックの愛の精神」に基づいた保健医療活動を行っており、聖マリアグループの中核を成す法人です。

2014年10月には、回復期リハビリ病棟・療養型病棟、人間ドッグ・内視鏡センター、透析センターの3部門から構成される聖マリアヘルスケアセンターを開院しました。

○公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

2009年4月に、財団法人九州産業衛生協会と福岡県対がん協会が合併し発足しました。

従来、九州産業衛生協会が行ってきた、労働・環境衛生や人間ドックなどに加え、がん検診と予防に関する啓発活動などを行い、人々の健康づくりと福祉の向上への貢献を目指しています。

○社会福祉法人福成会

作業能力を持ちながらも、雇用されることの困難な障害者の方の社会活動への積極性をお手伝いする障害者支援施設「ウェルフェアマリア」、「まちづくりワークショップマリア」や高齢者向けの施設「ケアハウスメゾンマリア」「デイサービスセンターメゾンマリア」などの運営を行っています。

○株式会社サンループ

聖マリアグループにて蓄積した医療現場での経験と実績を基に、人材派遣・業務請負・紹介予定派遣・人材紹介事業を行っています。

また、医療現場が直面しているさまざまな課題解決のための医療コンサルティングも実施しています。

○特定非営利活動法人 ISAPH (アイサップ)

聖マリア病院の長年にわたる国際協力活動から生まれました。

それまで、聖マリア病院で実施してきた国際協力活動の手法を活かして新たな活動を展開するNPO法人です。

ラオス（東南アジア）やマラウィ（アフリカ）を中心に、地域保健活動、災害救急医療支援、保健人材育成支援などを行っています。

○学校法人ありあけ国際学園

保健・医療・福祉分野の経営を担う人材を育成することを目的とした「保健医療経営大学」を運営しております。

幅広く活躍できる能力が修得できる充実したカリキュラムや、10万㎡（3万坪）という広大な地にゆとりある空間がちりばめられたキャンパスも魅力のひとつです。

〇雪の聖母会健康保険組合

聖マリアグループ各法人（一部を除く）に勤務する職員同士の相互扶助を目的に、2008年12月に発足しました。

病気やけがをしたときの生活保障となる「保険給付」、日頃の健康増進を目的とした「保健事業」を展開し、職員間の生活上の不安を少しでもなくしていけるよう努めています。

Ⅱ. 事業の概要

1. 基本方針

大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く状況は、主として学齢人口の減少に伴う競争的環境下に置かれ、各機関は教育・研究組織としての経営方針・戦略を明確化し、内外に示していくことが求められております。

教育・研究と、経営・管理の両軸が相互に有機的に機能し、中長期的視野に立ったより実践的な目標の明示と、それを実現する組織的行動、また、効果的な点検・評価体制の確立が必須となっているものです。

このことは、今後、ますます多様化することが予想される学生のニーズに的確に対応するため、各大学等に期待される役割・機能を十分に踏まえた教育や研究の推進を図るとともに、社会との連携を推進しながら、個々の機関が、その個性・特色を一層明確にしていかなければならないことを意味しています。

本学院におきましては、設立理念「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究の実践を堅持、継承し、“student focused education（学生に焦点を当てた教育の実践）”、さらには“enrollment management（入学前～在学中～卒業後の一貫した総合学生支援策等）”を主眼として、中長期事業計画（理事会・評議員会決議）を踏まえた各種事業に取り組んで参りました。

2. 2015年度に実施した主な事業内容

2015年度は大学開学10年目の節目の年となりました。

4月には新学長が就任し、全学的な大学改革を行うための体制を構築し、順次着手しております。

新たな10年へ向け、ハード面においては新校舎・新図書館棟の建築構想を開始し、ソフト面においてはこれまでの本学の歴史を振り返り、教育の方向性や「カトリックの愛の精神」についての理解を深めることで士気を高めるための取り組みを行いました。

また、本学の特色である国際協力の分野においては、今までになかった分野への新たなチャレンジも行い、2016年4月に迎える満10周年を充実した形で迎えることができるよう、努めております。

以下に、「経営・管理」、「教育・研究」、「国際交流」及び「地域貢献」を枠組みとして主な事業項目の概要を示します。

①新学長就任

4月1日付にて、井手三郎教授が聖マリア学院大学の第3代学長に就任いたしました。

新学長は、「カトリックの愛の精神」を基盤とした大学教育の実践ならびにカトリック大学として世界標準の理念に基づき、特に保健医療福祉分野におけるグローバル展開を目指すことを、今後の運営方針として表明いたしました。

②全学的な大学改革へ向けて

大学開学10年目の節目の年にあたり、新学長のもと、全学的な大学改革へ向けて動き出しました。新たな組織体制や、その活動内容をご紹介します。

■大学改革推進室

学長方針として学内改革の各種施策を方向付ける学長直轄機関として設置しました。全学的な現状課題（短期施策）と将来課題（中長期施策）を明確化し、その対応方針などを検討しています。

また、同室からの大学運営に関する案件に対応する任意組織として、及びF

D・SDの観点から将来の大学アドミニストレーターの人材育成を目的として、大学アドミニストレーター会議も新設しております。

■教学マネジメント委員会

本学院内の各委員会と連携しながら、前出の大学改革推進室における教学部門担当として、3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を根本的に見直しながら、アクティブラーニング導入や編入制度改革など、教学部門における改革事案に取り組んでいます。

③国際交流振興基金（第3号基本金）の新設

本学院における国際交流振興に資するための運用基金として、第3号基本金として「聖マリア学院国際交流振興基金」を新規設定いたしました。

第3号基本金は、“元本を運用して、その運用で得た利息・配当金を奨学生の支援、特定の研究、海外交流などに利用する”ものです。

先に購入した株式を対象資産とし、その配当金を「聖マリア学院国際交流振興基金規程」に基づき、教職員及び学生の国内・国外派遣、外国の大学等との教育研究交流、海外の研究者や留学生の受け入れなどの事業を実施するための費用へ充当します。

④まちなか保健室・ほっとステーションマリア

地域貢献の一環として久留米市内商店街の「一番街プラザ」に開設された、無料健康相談コーナー「まちなか保健室・ほっとステーションマリア」は、2009年2月の開設から7年を迎えました。

本年度の来館者数は延べ6,848名、相談者数は延べ596名となり、2年連続の減少となりました。主な要因としては、1ヶ月あたりの相談対応日数が減少したことが考えられます。

その反面、本年度から健康相談において対応可能な分野の拡大を行っており、あらゆるニーズに対応できる体制を整えております。常連の来訪者のみならず、初めて来訪される方にも安心して相談できる環境を確立することで、商店街のさらなる活性化につなげていきたいと考えております。



ほっとステーションマリア

⑤ 1号館解体

旧聖マリア学院医療福祉専門学校の校舎として使用し、閉校後は大学の校舎のひとつとなっていた1号館は、老朽化により12月末に解体いたしました。

解体工事に先立ち、森山信三・久留米カトリック教会司祭の司式により、9月11日に「感謝の式」を開催しました。本学院教職員、工事関係者、医療福祉専門学校卒業生の同席の下、聖マリア学院大学の前身である聖マリア高等看護学院時代から約40年にわたって多くの学生や教職員の学び舎として多くの思い出を刻んだことなどへの感謝の意を表し、解体工事の安全を祈りました。



1号館「感謝の式」の様子



在りし日の1号館

⑥ 校地の新規取得

本学院では、校地・校舎の取得計画の中長期構想として、校地北側地区の一

体的利用を目指した当該区域の拡張、整備を進めて参りました。

この度、当該地区に所在する土地1, 572.23㎡を校地として新規取得いたしました。

当該土地は先に供用開始した正門（NORTH GATE）と隣接しており、今後、新校舎もしくは図書館棟の建築を予定しております。



新規取得した校地

⑦公開講座の実施

例年開催している公開講座も9年目を迎え、「よりよく生きる」をテーマに5回シリーズで開催しました。

本年度は、心身ともに健康な老後を過ごすためのメッセージをお届けすることにウェイトを置いたシリーズといたしました。

特に、本学院最年長の教授（80代）による「長生きの秘訣」や「人生の楽しみ方」を紹介する講演は、現職での業務やプライベートでの趣味、健康的な日常生活の送り方など、まさに老後の“今”を生き活きと過ごしている状況が紹介され、参加者にとって大変参考になったようです。

今後もさまざまな世代の皆様のニーズに応じて、保健医療福祉分野における身近な話題を分かりやすくお伝えしたり、日々の生活を送るためのアドバイスを提供し考える機会を設けたりするなど、本学教員の持つ知識や経験を積極的に開放することで、地域の皆様が健やかな毎日をお過ごしいただけるよう、後押しして参ります。

2015年度公開講座実施内容

- 第1回／「老いを楽しく生きる ～こころの処方箋～」
講師：萬年内科医院 元院長 萬年孝哉
- 第2回／「パートナーとのつきあい方 ～よりよい関係性のために～」
講師：聖マリア学院大学 助教 川口弥恵子
- 第3回／「生涯現役 胆道外科医」
講師：聖マリア学院大学 特任教育教授 中山和道
- 第4回／「イライラしない自分になれる ～怒りのマネジメント術～」
講師：聖マリア学院大学 講師 白井ひろ子
- 第5回／「私の心臓を知る」
講師：聖マリア学院大学 准教授 鶴田明美

⑧教職員対象研修会を開催

本年度も春と夏の2回にわたり、全教職員を対象とした研修会を実施いたしました。特に8月に開催した夏の研修会は、新学長が表明した運営方針に沿うテーマで実施されました。

午前はFD・SD委員会の主催にて、井手三郎・新学長による「我が校における自校史及び教育の展望について」といったテーマで講演が行われました。

意外と知られていない深い話が多く、終了後のアンケートからは「入職時に自校史の話があるとよいのではないか」「本学院の歴史を語るに必要なスライドは大学で保存し、新設予定の図書館に（本学院の歴史を紹介する）常設コーナーを設置するべきではないか」との意見がありました。

午後はカトリックセンター主催にて、使徒言行録20章35節の「受けるよりは与える方が幸いである」をテーマに講演いただきました。

「愛」についてさまざまな視点から考察し、「愛」とは他人ごとではなく自分につながっているものであると実感した教職員が多かったようです。

近年は教員の任期制導入もあつてか、本学院においては、勤務年数が短い教職員が増加している傾向にありますが、引き続きこのような研修会を開催し、本学院の歴史や教育の方向性、カトリックの愛の精神についての理解を深め、教職員の士気をより一層高めて参ります。



教職員研修会の様子

⑨被災地支援（ボランティア派遣等）

昨年度に引き続き、本年度も東日本大震災の被災地へボランティアを派遣しました。本年度は学生17名を岩手県釜石市、宮城県登米市へ派遣し、各地において漁業・農業支援、仮設住宅の居住者の支援（イベント実施、高齢者宅の掃除、話し相手）、障がい児支援などを行いました。

本年度は、過去に派遣ボランティアとして現地での活動経験がある“リピーター”の学生も参加し、より効率的な活動ができました。

東日本大震災の発生から半年後の2011年9月に最初のボランティアを派遣して以来、本年度までに延べ96名の教職員および学生を派遣して参りました。派遣する教職員・学生は年々変わりますが、震災の被害を風化させることなく、息の長い支援を続けて参ります。



被災地ボランティア作業の様子

⑩外部資金の獲得状況

本学院では外部研究資金獲得を全学的に励行しています。本年度も前年度に引き続き、多数の科学研究費等外部研究費が採択されました。

- 科学研究費補助金（文科）
採択 25 件 / 助成金額 11,010,155 円
(内、研究分担金 採択 11 件 / 助成金額 1,130,155 円)
- 科学研究費補助金（厚労）
採択 1 件 / 助成金額 800,000 円
(内、研究分担金 採択 1 件 / 助成金額 800,000 円)
- 日本医療研究開発機構（AMED） 委託研究開発費
採択 1 件 / 助成金額 10,600,000 円
- 国立長寿医療研究センター 長寿医療研究開発費
採択 1 件 / 助成金額 100,000 円
(内、研究分担金 採択 1 件 / 助成金額 1,300,000 円)
- 私立大学等経常費助成（国庫補助）
補助金額 97,706,000 円

⑪国際交流 ～JICA研修実施～

独立行政法人国際協力機構（JICA）が一般公募ならびに競争入札する「2015年度“青年研修事業”受託業務」のコースのうち、本学院が「母子保健実施管理コース」に応募しておりましたところ受託が決定し、11月に研修生を招いて研修を実施しました。

青年研修事業とは、開発途上国の青年層（20歳～35歳程度）を日本に招き、各国の開発問題（行政、教育、農業、環境、保健医療などの専門分野）について、日本の経験・技術の基礎的理解を付与する研修で、日本国内での研修プログラムをNPO、大学、自治体等へ委託する形式で行われています。

今回はアフガニスタンからの研修生18名を招き、約2週間にわたって、日本の母子保健システムや助産師教育の講義、地域の母子支援施設や小中学校の保健授業の視察、異文化理解として看護学生との交流事業を実施しました。

終了後のアンケートでは、技術的な内容や臨床現場の視察、社会背景を考慮した研修プログラムを希望されるなどの課題が挙げられておりましたが、概ね

良い評価をいただき、無事に研修を終えることができました。



JICA研修会の様子

3. 2015年度入試結果

○聖マリア学院大学

<看護学部看護学科>

区 分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推 薦 (系属校)	若干名	1	1	1	1
推 薦 (指定校)	35 名	29	29	29	29
推 薦 (公募制：前期)		48	46	39	36
推 薦 (公募制：後期)	5 名	13	13	7	6
社会人	若干名	3	3	3	2
学士・短期大学士	若干名	2	2	0	0
一 般	44 名	183	174	93	31
センター利用 (前期)	10 名	79	40	15	3
センター利用 (後期)	若干名	14	12	4	2
合 計	100 名	372	320	191	110

<専攻科助産学専攻>

区 分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推 薦	10 名	15	15	7	7
一般 (前期)	5 名	9	9	6	5
一般 (後期)		2	2	1	1
合 計	15 名	26	26	14	13

○聖マリア学院大学大学院

<看護学研究科>

区 分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一 般 (秋期)	12 名	2	2	2	2
社会人 (秋期)		1	1	1	1
一 般 (春期)		0	0	0	0
社会人 (春期)		6	6	6	6
合 計	12 名	9	9	9	9

4. 卒業生の主な進路状況

○聖マリア学院大学
 (平成28年3月卒業生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	75	聖マリア病院、久留米大学病院、福岡大学病院、九州大学病院
県外病院	22	佐賀大学医学部附属病院、長崎大学病院、大分大学医学部附属病院
医療機関外	0	
進学	12	聖マリア学院大学大学院、聖マリア学院大学専攻科助産学専攻

○聖マリア学院大学専攻科助産学専攻
 (平成28年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	4	聖マリア病院、福岡大学病院、福岡記念病院、小倉医療センター
県外病院	3	神戸大学医学部附属病院、武蔵野赤十字病院、日本赤十字社医療センター

○聖マリア学院大学大学院
 (平成28年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
県外病院	1	久留米大学病院
医療機関外	1	京都大学医学部附属病院

※上記は新卒者のみの数値である。
 (社会人学生は除く)

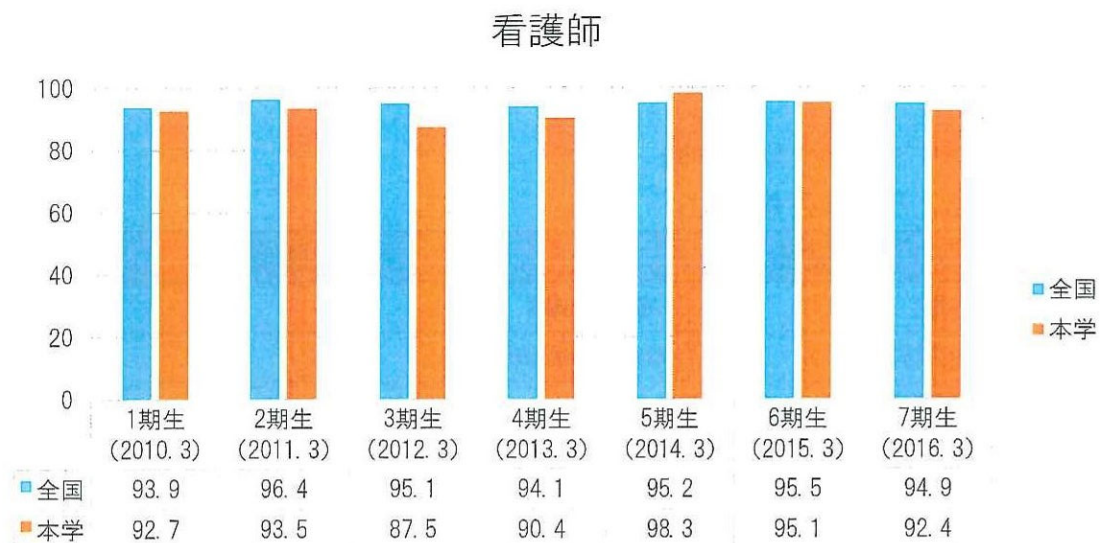
5. 国家試験の合格状況

2016年2月実施

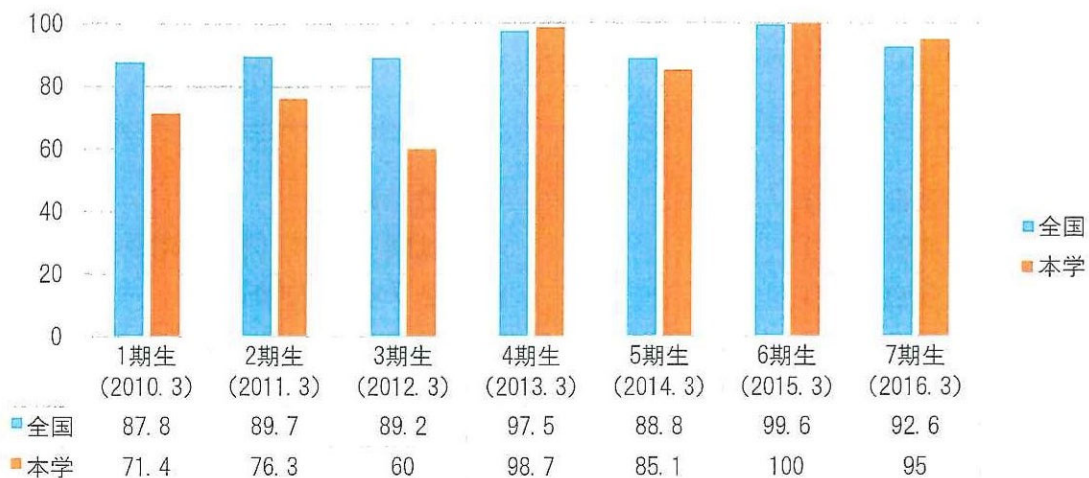
	本学における結果(名)		合格率(%)	
	合格者数	受験者数	本学	全国
看護師	109	118	92.4	94.9
保健師	19	20	95.0	92.6
助産師	6	7	85.7	99.8

※上記は新卒者のみの数値である。

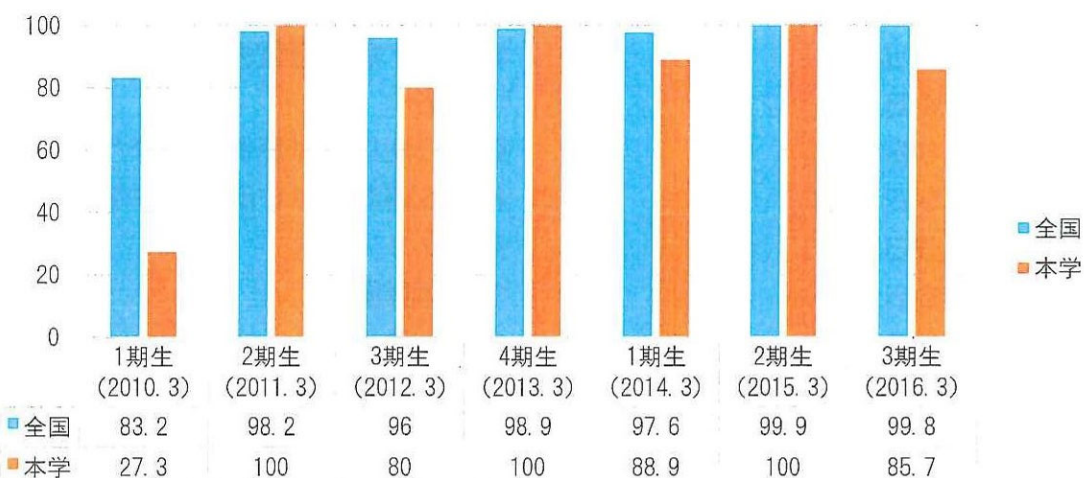
～合格率の推移～



保健師



助産師



※上記は新卒者のみの数値である。

※助産師は2013年3月卒業者までが看護学部、
2014年3月修了者以降は専攻科の結果である。

6. 学年暦

4月 1日 (水)	学年はじめ
4月 4日 (土)	国家試験フェア (看護学部4年)
4月 6日 (月)	平成27年度入学式
4月 7日 (火) ~ 10日 (金)	新年度オリエンテーション・健康診断
4月13日 (月)	前期開講
4月17日 (金)	新入生歓迎会
7月中旬	前期単位認定試験 (看護学部3年)
7月下旬	前期単位認定試験 (看護学部1・2年)
8月 1日 (土)	夏期休業開始
9月15日 (火)	夏期休業終了
10月 1日 (木)	後期開講
10月 3日 (土)	やすらぎのつどい (看護学部4年)
10月10日 (土)	召命のつどい (看護学部1年)
11月 2日 (月)	聖マリア病院慰霊祭
11月14日 (土)	学院祭
12月 8日 (火)	創立記念日 (無原罪の聖マリアの祭日)
12月19日 (土)	第66回聖マリア医学会研究会
12月25日 (金)	合同クリスマス
12月26日 (土)	冬期休業開始
1月10日 (土)	冬期休業終了
1月下旬~2月上旬	後期単位認定試験 (看護学部2年)
2月上旬	後期単位認定試験 (看護学部1年)
3月 5日 (土)	平成27年度学位授与式
3月13日 (日) ~ 20日 (日)	米国研修旅行

Ⅲ. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準（文部科学省令）により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

企業の財政構造が、「モノ」を生産・販売することにより投資した資本を回収するとともに利潤を獲得し、獲得した利潤により新たな設備投資や既存の設備の改修が可能となる「生産経済体」であるのに対し、学校法人は、学生が入学することで学納金により収入を確保できる一方、支出が増加した場合、それに見合った収入の増加を図ることが難しい「消費経済体」です。

企業会計の目的が営利目的の事業活動の成果と財政状態を利害関係者に開示するところにあるのに対し、学校法人会計は財政面から学校経営における教育研究活動の健全性を測定し、開示することを目的としています。

◆◆ 学校法人会計基準の改正 ◆◆

制定以来40年が経過し、会計のグローバル化等を踏まえた様々な他の会計基準の改正や私学を取り巻く経営環境の変化等を受け、「学校法人の作成する計算書類等の内容をより一般にわかりやすいものにする」、「学校法人の適正な経営判断に一層資するものとする」ことを主眼として学校法人会計基準が改正され、平成27年度決算より適用されております。

以下に、各計算書の概要を記し、平成27年度の本法人の決算につきご報告します。

資金収支計算書

(単位；円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	27年度決算額	科目	27年度決算額
学生納付金収入	815,499,100	人件費支出	558,915,095
手数料収入	12,923,010	教育研究経費支出	264,065,088
寄付金収入	31,219,000	管理経費支出	73,786,573
補助金収入	97,706,000	施設関係支出	92,980,800
付随事業・収益事業収入	26,004,000	設備関係支出	7,711,497
受取利息・配当金収入	6,094,434	資産運用支出	124,800,000
雑収入	47,466,522	その他の支出	31,904,213
前受金収入	140,264,500	予備費	-----
その他の収入	128,010,082	資金支出調整勘定	△ 31,608,739
資金収入調整勘定	△ 184,380,535	次年度繰越支払資金	1,588,270,761
前年度繰越支払資金	1,590,019,175		
収入合計	2,710,825,288	支出合計	2,710,825,288

3. 「事業活動収支計算書」の概要

当該会計年度の活動に対する事業活動収入と事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、固定資産の経過的価値の減少（減価償却額）や将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。（企業会計の「損益計算書（P/L）」に相当するものです。）

主な収入（科目説明）

寄付金	（学校法人への寄付による収入・事業活動収入の部には現物による寄付も含まれる）	：	32,515 千円
付随事業収入	（学生寮に係る寮費納付金の収入や受託事業の収入）	：	26,004 千円
基本金組入額	（当該年度に取得した施設・設備等の額及び将来に向けて積み立てる額等）	：	△103,200 千円
事業活動収入の部合計		：	1,042,202 千円

主な支出（科目説明）

減価償却費	（既存の建物・土地・備品等の固定資産に係る償却費用）	：	105,109 千円
資産処分差額	（保有資産の除却に係る期末簿価を計上）	：	132,875 千円

事業活動支出の部合計 ： **1,147,017 千円**

基本金組入前当年度収支差額
： **△104,815 千円**

当年度収支差額 ： **△208,015 千円**

事業活動収支計算書

(単位；円)

収入の部		支出の部	
科目	27年度決算額	科目	27年度決算額
教育活動収入	1,036,107,421	教育活動支出	1,014,142,338
教育活動外収入	6,094,434	教育活動外支出	0
特別収入	0	特別支出	132,874,510
		予備費	0
事業活動収入	1,042,201,855	事業活動支出	1,147,016,848
		基本金組入前当年度 収支差額	△104,814,993
		基本金組入額合計	△103,200,000
		当年度収支差額	△208,014,993
		前年度繰越収支差額	△483,682,401
		基本金取崩額	360,358,746
		翌年度繰越収支差額	△331,338,648

4. 「貸借対照表」の概要

当該会計年度末の財務状況（運用形態と調達源泉）を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。

（企業会計の「貸借対照表（B/S）」に相当するものです。）

固定資産（校地、校舎等建物、及び備品、図書等）	:	4,350,887 千円
流動資産（現金及び預貯金等）	:	1,819,508 千円
固定負債（退職給与引当金）	:	182,751 千円
流動負債（未払金、前受金等）	:	182,040 千円
基本金の部合計（財政的な基盤を示す額、将来への資金）	:	6,136,943 千円
繰越収支差額（資産から負債と基本金を差引いた額）	:	△331,339 千円

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

(単位；円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,350,887,421	4,652,888,797	△302,001,376
流動資産	1,819,507,736	1,613,062,646	206,445,090
資産の部合計	6,170,395,157	6,265,951,443	△95,556,286

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	182,750,674	170,484,044	12,266,630
流動負債	182,039,850	185,047,773	△3,007,923
負債の部合計	364,790,524	355,531,817	9,258,707

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	5,310,743,281	5,601,102,027	△290,358,746
第2号基本金	660,000,000	730,000,000	△70,000,000
第3号基本金	101,200,000	0	101,200,000
第4号基本金	65,000,000	63,000,000	2,000,000
繰越収支差額	△331,338,648	△483,682,401	152,343,753
純資産の部合計	5,805,604,633	5,910,419,626	△104,814,993
負債及び純資産の部合計	6,170,395,157	6,265,951,443	△95,556,286

5. 有価証券・特定金銭信託の時価情報

(単位：円)

種 類	当年度(平成28年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	300,000,000	302,138,109	2,138,109
(うち満期保有目的の債券)	(300,000,000)	(302,138,109)	(2,138,109)
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	101,200,000	96,000,000	△5,200,000
(うち満期保有目的の金銭信託)	(0)	(0)	(0)
合 計	401,200,000	398,138,109	△3,061,891
(うち満期保有目的の債券・金銭信託)	(300,000,000)	(302,138,109)	(2,138,109)
時価のない有価証券等	—		
有価証券および特定金銭信託合計	401,200,000		

6. 主な施設設備の整備状況

会計区分	内容	金額
土 地	グラウンド北側隣地購入	92,981 千円
教育研究用機器備品	講義用収録システム、パソコン 他【58点】	4,807 千円
管理用機器備品	応接室テーブル、椅子 他【18点】	1,021 千円
図 書	研究用、図書館用、製本雑誌【1,141冊】	7,174 千円

7. 主な事業計画の履行状況

事業計画内容	予算措置(千円)	達成度状況
建学の精神具現化への諸活動	1,000	○
基本金組入れ(校地取得計画)※1	20,000	◎
寄付者顕彰記念碑建立	500	△
学内公募による教育改革取り組みへの支援	1,000	○
教育研究活動の活性化	1,500	○
1号館解体に係る諸費用	90,000	◎
有価証券の購入 ~第3号基本金設定に向けて~	110,000	◎
包括的な修学支援環境の整備・拡充(リメディアル教育等)	1,000	○
被災地支援に係る諸活動の継続	1,000	○
青少年育成、国際保健医療協力に係る寄付金支出	1,400	○
大学院生教育研究助成金	2,000	△
志願者増と安定的定員充足に向けた対策	1,000	○
校地取得(グラウンド北側隣地土地)	90,000	◎

達成度状況 …… 予算執行(95%以上) / ◎

予算概ね執行(80%以上) / ○

執行不足 (80%未満) / △

※1: 新たな校地取得計画に向けた資金積み立て(追加積み立て)

8. 大科目の経過年度比較表 ー平成23年度～平成27年度ー

資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生納付金収入	785,246	774,870	801,217	802,108	815,499
手数料収入	18,938	17,507	15,422	13,013	12,923
寄付金収入	4,109	15,020	30,800	30,928	31,219
補助金収入	117,120	123,238	235,902	124,190	97,706
資産運用収入	4,922	4,721	4,042	5,189	6,094
資産売却収入	100,000	0	0	0	0
事業収入	8,969	9,052	8,136	17,961	26,004
雑収入	19,989	20,363	17,615	36,046	47,467
前受金収入	134,525	146,905	142,912	140,529	140,265
その他の収入	35,873	17,436	185,261	137,699	128,010
資金収入調整勘定	△152,316	△151,488	△271,413	△178,004	△184,381
前年度繰越支払資金	1,338,345	1,267,930	1,445,439	1,322,466	1,590,019
収入の部合計	2,415,720	2,245,555	2,615,333	2,452,125	2,710,825

支出の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人件費支出	511,850	517,119	526,560	569,708	558,915
教育研究経費支出	155,354	159,188	160,684	175,348	264,065
管理経費支出	65,439	70,062	70,065	73,219	73,787
借入金等利息支出	639	391	0	0	0
借入金等返済支出	3,880	11,640	0	0	0
施設関係支出	1,260	4,726	397,930	8,667	92,981
設備関係支出	7,701	23,773	28,398	9,271	7,711
資産運用支出	400,000	0	108,600	29,490	124,800
その他の支出	28,820	42,154	28,936	28,307	31,904
予備費	—	—	—	—	—
資金支出調整勘定	△27,154	△28,936	△28,307	△31,904	△31,609
次年度繰越支払資金	1,267,930	1,445,439	1,322,466	1,590,019	1,588,271
支出の部合計	2,415,720	2,245,555	2,615,333	2,452,125	2,710,825

消費収支計算書

(単位：千円)

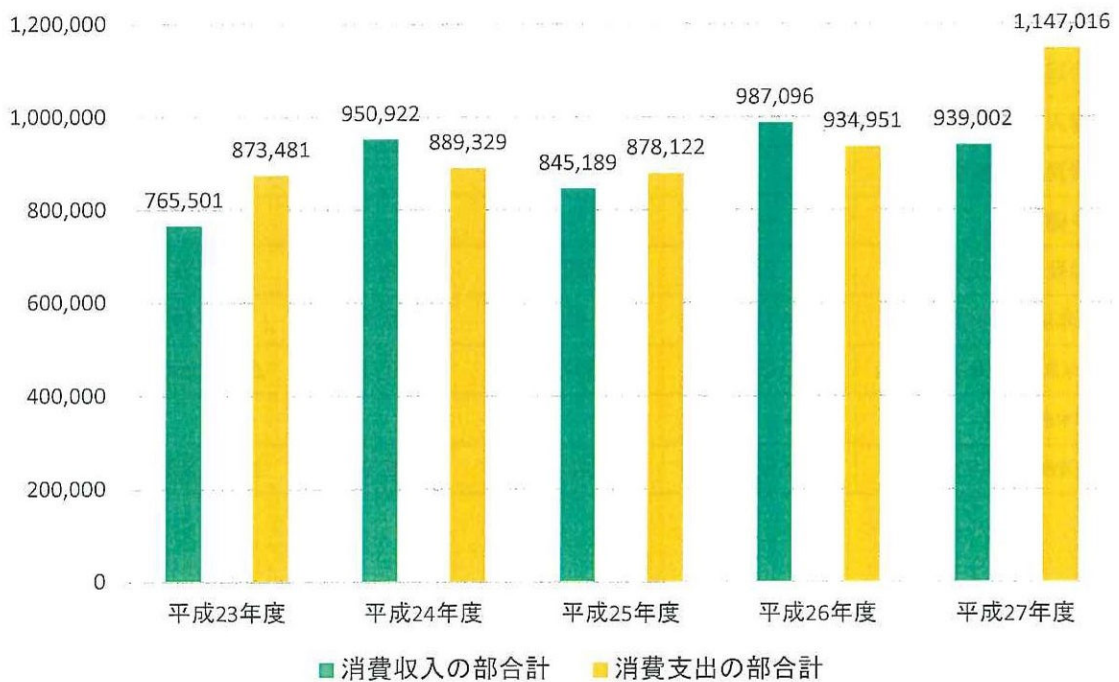
収入の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生納付金	785,246	774,870	801,217	802,108	815,499
手数料	18,938	17,507	15,422	13,013	12,923
寄付金	5,986	17,744	32,770	32,887	32,515
補助金	117,120	123,238	235,902	124,190	97,706
資産運用収入	4,922	4,721	4,042	5,189	6,094
事業収入	8,969	9,052	8,136	17,961	26,004
雑収入	24,321	24,097	22,082	40,012	51,460
帰属収入合計	965,502	971,230	1,119,571	1,035,360	1,042,202
基本金組入額合計	△200,000	△20,308	△274,382	△48,264	△103,200
消費収入の部合計	765,501	950,922	845,189	987,096	939,002

支出の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人件費	511,382	533,621	529,018	565,221	571,182
教育研究経費	272,822	264,023	260,102	276,982	352,357
管理経費	87,814	90,030	89,002	92,578	90,604
借入金等利息	639	391	0	0	0
資産処分差額	824	1,264	0	170	132,875
予備費	—	—	—	—	—
消費支出の部合計	873,481	889,329	878,122	934,951	1,147,017
当年度消費支出超過額	△107,979	61,593	△32,933	52,145	△208,015
前年度繰越消費収支超過額	△464,582	△564,488	△502,895	△535,828	△483,682
基本金取崩額	8,073	—	—	—	360,359
翌年度繰越消費収支超過額	△564,488	△502,895	△535,828	△483,682	△331,339

帰属収入と消費支出の推移(過去5ヶ年度)



消費収入と消費支出の推移(過去5ヶ年度)



※単位：千円

※帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は純資産の増加を表す

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固定資産	4,547,399	4,456,288	4,729,299	4,652,889	4,350,887
流動資産	1,277,342	1,468,652	1,438,950	1,613,063	1,819,508
資産の部合計	5,824,741	5,924,940	6,168,249	6,265,951	6,170,395

負債の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固定負債	163,771	172,513	174,971	170,484	182,751
流動負債	174,310	183,865	183,268	185,048	182,040
負債の部合計	338,081	356,378	358,238	355,532	364,791

資産の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
第1号基本金	5,132,838	5,153,146	5,577,528	5,601,102	5,310,743
第2号基本金	855,310	855,310	705,310	730,000	660,000
第3号基本金	0	0	0	0	101,200
第4号基本金	63,000	63,000	63,000	63,000	65,000
基本金の部合計	6,051,148	6,071,456	6,345,838	6,394,102	6,136,943

消費収支差額の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
翌年度繰越消費収支超過額	△564,488	△502,895	△535,828	△483,682	△331,339
消費収支差額の部合計	△564,488	△502,895	△535,828	△483,682	△331,339
負債の部合計、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	5,824,741	5,924,940	6,168,249	6,265,951	6,170,395

【※年度比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作表】

9. 主な財務比率の経過年度比較表

比 率	算式 (×100)	平成23年度 (決 算)	平成24年度 (決 算)	平成25年度 (決 算)	平成26年度 (決 算)	平成27年度 (決 算)
人件費比率 ★	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	53.0%	54.9%	47.3%	54.6%	54.8%
教育研究 経費比率 ☆	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	28.3%	27.2%	23.2%	26.8%	33.8%
管理経費 比率 ★	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	9.1%	9.3%	7.9%	8.9%	8.7%
消費支出 比率 ★	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	90.5%	91.6%	78.4%	90.3%	110.1%
消費収支 比率 ★	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	114.1%	93.5%	103.9%	94.7%	122.2%
学生納付金 比率 —	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$	81.3%	79.8%	71.6%	77.5%	78.2%
寄付金比率 ☆	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.6%	1.8%	2.9%	3.2%	3.1%
補助金比率 ☆	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	12.1%	12.7%	21.1%	12.0%	9.4%
基本金組入 比率 ☆	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	20.7%	2.1%	24.5%	4.7%	9.9%

☆：高い

★：低い値が良い

—：どちらともいえない

【※年度比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作表】

10. 平成27年度決算総評

平成 27 年度における事業活動収入計〔従前の帰属収入〕は、1,042,201,855 円となり、そこから基本金組入額合計 103,200,000 円を差し引くと、939,001,855 円〔従前の消費収入〕となりました。授業料、入学金等の学生納付金収入が 815,499,100 円と約 8 割を占め、ついで補助金収入が 97,706,000 円となっております。

支出につきましては、人件費が 571,181,725 円、教育研究経費 352,356,608 円及び管理経費 90,604,005 円などを主なものとして、事業活動支出計〔従前の消費支出〕として、1,147,016,848 円となっております。

結果、基本金組入前当年度収支差額〔従前の帰属収支差額〕が△104,814,993 円となり、単年度支出超過の決算となります。

その要因としては 1 号館解体関連支出が挙げられます。直接的な解体費用である 88,020,000 円の支出に加え、資産処分差額（特別支出）として 132,874,510 円が発生しております。

その他、隣地買収に際し 92,980,800 円（施設関係支出；土地）の支出もございましたが、こちらは第 2 号基本金より 90,000,000 円を振り替えましたため、収支バランスに大きな影響はございません。

以上のとおり、校舎解体という特殊案件による単年度支出超過ではございますが、赤字決算となりましたことを重く受け止め、収支状況の均衡を目指し、今後も堅実な財政計画とその執行管理により、さらなる財政基盤の充実に取り組んでまいります。

学校法人聖マリア学院

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科助産学専攻
聖マリア学院大学大学院 看護学研究科

〒830-8558

福岡県久留米市津福本町422番地

TEL 0942-35-7271 (代表)

FAX 0942-34-9125

<http://www.st-mary.ac.jp/>